

## 6 災害時要援護者への配慮

～誰にとっても、安心・安全な避難所での対応は～

### ● 妊産婦や乳幼児

#### 困っていること

- ・妊産婦はゆっくり体を伸ばして休む場所がない
- ・授乳、おむつ替え、泣き声など周囲へ気を遣う
- ・ミルク用のお湯、栄養のある食事が必要

#### 必要とする支援

- ・心身の安静、体を休める場所
- ・授乳やおむつ替えの場所
- ・乳幼児が遊んだり、泣いたり笑ったりできる場所



### ● 高齢者

#### 困っていること

- ・和式トイレ、トイレが離れている
- ・階段や段差、転倒の危険、素早い行動
- ・床での寝起きや座ること
- ・薬、病気のこと

#### 必要とする支援

- ・洋式トイレ、ベッドやイス、手すり、杖
- ・薬、医者
- ・介助者や付き添い、話し相手



### ● 肢体不自由な方

#### 困っていること

- ・階段や段差、転倒の危険
- ・床での寝起きや座ること
- ・和式トイレ、トイレが離れている
- ・素早い行動や集団での行動が困難

#### 必要とする支援

- ・車いすが入れるスペース
- ・介助者や支援者



### ● 認知症の方

#### 困っていること

- ・置かれている状況への不安や混乱
- ・感情の起伏、記憶の欠落、徘徊
- ・自分の状況を伝える、判断する、行動することが困難
- ・家族が周囲に気を遣う

#### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境、家族と同室の部屋
- ・薬、医者、介助者や支援者、話し相手

### ● 慢性疾患のある方

#### 困っていること

- ・病気のことが理解されない、また偏見を持たれることもある
- ・補助器具や薬の投与、通院治療（透析他）
- ・清潔な治療スペース、衛生環境

#### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境
- ・衛生面に配慮
- ・治療の継続、薬、医者



### ● 介護や看護を必要とする方

#### 困っていること

- ・食事、排せつ、着替えなどの日常生活全般において介助が必要
- ・自力での移動が困難
- ・家族が周囲に気を遣う

#### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境、家族と同室の部屋
- ・衛生面に配慮、薬、医者
- ・介助者や付き添い、話し相手



### ● 精神疾患のある方

#### 困っていること

- ・置かれている状況への不安や混乱、パニック
- ・周囲の状況判断や理解が困難
- ・周囲からの理解欠如や偏見

#### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境、家族と同室の部屋
- ・薬、医者
- ・支援者や話し相手



### ● 外国人の方

#### 困っていること

- ・日本語での情報収集や伝達が不十分、できない場合もある
- ・災害用語が理解できない
- ・生活習慣や食事、宗教

#### 必要とする支援

- ・同じ国の人が集まれる場所
- ・多言語や母国語による情報提供、支援者



## ● 視覚障がいのある方

### 困っていること

- ・情報の不足、情報発信が困難
- ・階段や段差、トイレなどの移動
- ・周囲の状況把握が困難、周囲からの理解欠如

### 必要とする支援

- ・点字や音声による情報伝達や状況説明
- ・盲導犬の同伴
- ・介助者や支援者



## ● 聴覚障がいのある方

### 困っていること

- ・音声による聞き取りができないため情報の不足、また情報発信が困難
- ・補聴器を使用しているも、混雑の中では聞き取りが困難

### 必要とする支援

- ・筆談用の筆記用具
- ・補聴器
- ・手話、文字、絵図を活用した介助者、支援者



## ● 知的障がいのある方

### 困っていること

- ・自分自身の状況を伝えられない
- ・周囲の状況判断や理解が困難

### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境、家族と同室の部屋
- ・薬、医者、支援者や話し相手

## ● 発達障がいのある方

### 困っていること

- ・周囲とのコミュニケーションや環境適応が困難
- ・置かれている状況への不安や混乱、パニック

### 必要とする支援

- ・落ち着いた環境、家族と同室の部屋
- ・薬、医者、支援者や話し相手

## ● 性的マイノリティの方

### 困っていること

- ・周囲からの理解欠如や根強い偏見
- ・誰にも話せない辛さや話すことへの不安
- ・女性と男性にはっきり分けられた支援

### 必要とする支援

- ・多目的のトイレ、更衣室、シャワー室
- ・女性と男性を問わない空間や支援
- ・当事者や支援者が安心して集まれる場所や部屋

多様な人々にとって安心して安全な避難所運営をしていくために、どのような困りごとや支援が必要なのか、平常時から地域で話し合い、災害時の実践につなげていくことが大切です。

## SOSカード

わたし かき こま  
私は下記のことです困っています

(ふりがな)		せいべつ	
しめい 氏名		性別	
じゅうしょ 住所	〒		
でんわばんごう 電話番号			
けいたいばんごう 携帯番号			
せいねんがっぴ 生年月日	めいじ 明治	たいしょう 大正	しょうわ 昭和
	へいせい 平成	ねん 年	がつ 月
		にち 日	さい 歳

## お手伝いカード

私は下記のお手伝いができます(資格・免許・特技など)

例えば	*看護師の資格あります		
例えば	*高齢者や障がいのある方への介助、話し相手や見守りができます		
例えば	*調理や片付けが得意です		
例えば	*大工仕事や掃除ならお任せください		
(ふりがな)		せいべつ	
しめい 氏名		性別	
じゅうしょ 住所	〒		
ちんねん 町内会			

要支援者からの「SOSカード」と、支援者やお手伝いができる人の「お手伝いカード」を作ってマッチングしましょう



### 「避難所情報伝達キット」

多言語で書かれた表示、この他にも食べ物(アレルギー含む)や生活ルールなどがあります

●参考：避難所情報伝達キット「つ・た・わ・るキットVol.01」  
三重県発行(平成24年3月)